

大阪市交通局

安全研修施設「輸送の生命館」の一般公開について

1 はじめに

大阪市交通局では、鉄道の日になんで、体験型安全研修施設「輸送の生命館」の一般公開を、平成 29 年 9 月 30 日（土）と 10 月 7 日（土）の 2 日間、各日 2 回ずつ開催いたしました。

2 名称由来

「輸送の生命館」の名称は、昭和 26 年 7 月に運輸省（現：国土交通省）が制定した鉄道及び軌道の運転の業務に従事する者が服すべき規範として規定した「運転の安全の確保に関する省令」第二条の綱領「安全の確保は輸送の生命である」に由来しています。

3 設置目的

交通局では、「『安全はすべてに優先する』との強い決意を持ち、一丸となってお客さまに安心・信頼してご利用頂ける輸送サービスを提供する。」という安全方針を継続的に職員の心に刻むことを目的に、平成 25 年 6 月に開設しました。

4 公開内容

一般公開では、交通局の安全研修の取り組みを知っていただくとともに、非常時における機器等の取扱いの体験を通じて、安全を守るパートナーになっていただきたいことをお伝えしました。

(1) 安全研修の取り組みを知っていただく

- ・鉄道の安全は不幸にも過去の事故の痛み

や教訓から安全対策が積み上げられていることを、「鉄道の事故の歴史を紐解き鉄道のルールが作られてきた経緯と、輸送の生命館に設置している 3 つの事故から、事故を忘れない、同じ事故を繰り返さないため、過去の事故とその「教訓」を「気づき」とともに共有している取組みと、交通局の「津波浸水対策」について、皆さまに知っていただきました。

- ・基本動作は、その取扱いを正確に実施する手段であることと、確認喚呼体感を、実際に体験していただき、その効果から如何に確認喚呼が重要であるかについて、皆さまに体験していただきました。



（確認喚呼体感説明の様子）

- ・輸送の安全を確保するため必要な施設の点検を行うメンテナンスの仕組みについて、皆さまに知っていただきました。
- ##### (2) 安全を守るパートナーになっていただく
- ・非常時における機器の取扱いについて、

その使用方法や目的、避難方法などを体験していただき、万が一のトラブル発生時にお客さまご自身が安全に行動していただくとともに、「地下鉄職員（駅職員・技術職員）の1日の業務の流れ」から、職員一人ひとりが、日夜どのように輸送の安全確保に取り組んでいるかについて、皆さまに知っていただき、交通局にお力をお貸しいただけるためのご協力を依頼しました。



(輸送の生命館リーフレット)



(非常時の機器の取扱い説明の様子)

5 最後に

皆さまからの声として、「忘れない過去を包み隠さず、しっかりと心にとどめ、これからの安全対策をされていることが強く伝わってきました。」「真剣に取り組み、職員の意識改革、そして、次の行動を促そうとしている強い思いが伝わってきました。」等が寄せられました。

最後に、大阪市交通局は平成 30 年度から経営形態が「市営」から「株式会社」に変わりますが、安全確保に向けた取り組みは変わらないことをお伝えし、約 2 時間の公開を終了しました。



(輸送の生命館リーフレット)